

～アブラナ科野菜 コナガが増加しているので注意しましょう～



5月から県内に設置しているフェロモントラップにコナガが多数誘殺されています。広島県では今後の気温が平年より高く推移すると予測されていることから、コナガの活動に好適であるため、被害が懸念されます。ほ場内で若齢幼虫の発生を確認したら直ちに防除を行いましょう。

発生概況について

- (1) コナガ雄成虫のフェロモントラップへの誘殺が、5月第1半旬から多く、5月第2半旬以降も例年と比較して非常に多く誘殺されています（図1）。
- (2) 県内における5月第1～2半旬の合計誘殺数では、前年比7.7倍（平年比8.8倍）になっています。
- (3) 向こう1か月、広島県内においては気温が平年よりも高くなる予報です。今後、コナガの活動に好適な環境となるため、次世代幼虫により被害を受けることが予想されます。

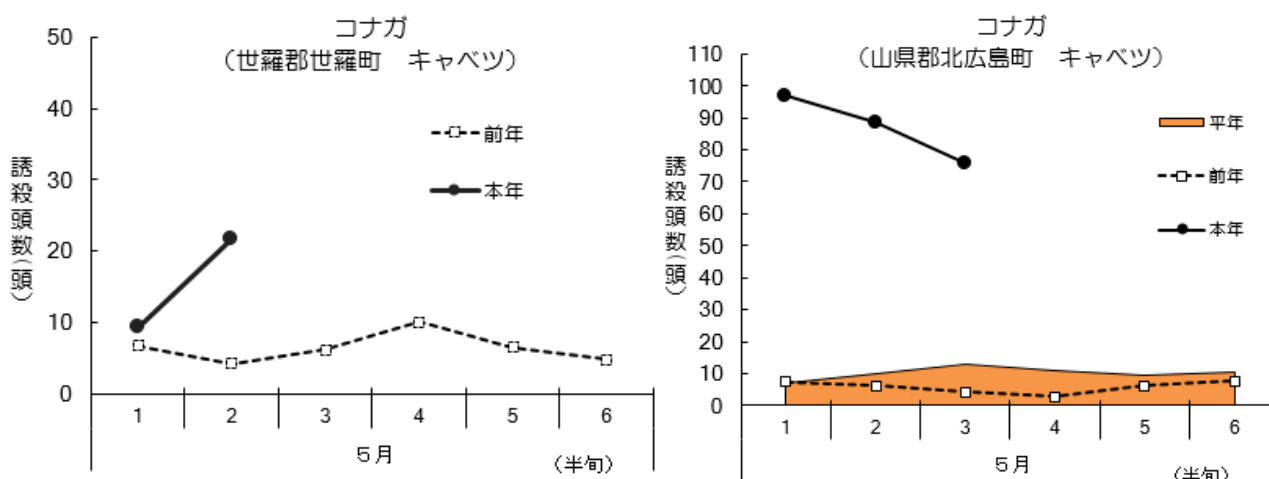


図1 フェロモントラップへのコナガ雄成虫誘殺数の推移

防除対策について

- (1) コナガ（図2、3）はキャベツなどのアブラナ科の野菜を食害します。
- (2) 1齢幼虫は葉に潜り、表皮を残して葉肉部のみを食害するため、食害部は薄く透けたような状態になります（図4）。また、2齢以降は葉裏に定着し、葉を孔（あな）だらけにします。
- (3) このため、農薬散布時は葉裏にかかるように散布しましょう。
- (4) 老齢幼虫には薬剤が効きづらくなるので、発生初期の若齢幼虫期に防除しましょう。
- (5) コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいため、農薬ラベルの RAC コードを確認し、異なる作用機作の薬剤をローテーション散布してください。また、散布後はほ場を確認し、防除できているか確認しましょう。
- (6) 薬剤散布については、農薬使用基準を遵守しましょう。周辺作物への飛散防止対策を行い、収穫時期が近い作物がある場合などは、特に注意してください。
- (7) 最新のフェロモントラップへの誘殺状況は、「ひろしま病害虫情報」ホームページでご確認ください。

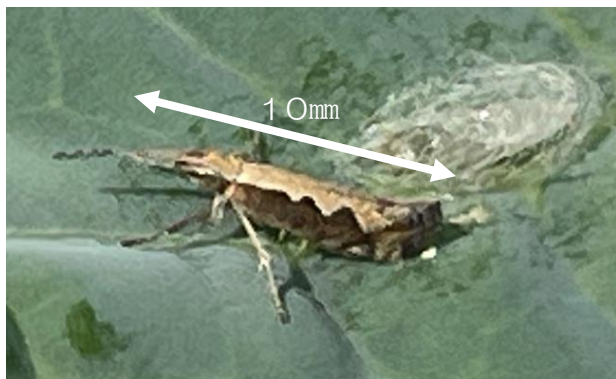


図2 コナガ成虫



図3 コナガ幼虫



図4 食害痕

● お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151
東広島市八本松町原 6869
TEL : 082-420-9662 (直通)



ひろしま病害虫情報

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)

ひろしま病害虫情報

検索

ホームページ
リニューアル!

